

新興3市場 増収率

IT企業が上位に並ぶ

前3月期 1位は日本風力開発

日本経済新聞社が新興企業向け三市場に上場する企業を対象に二〇〇三年三月期決算の増収率ランキングをまとめたところ、上位にはシステム開発や携帯電話関連などの情報技術（IT）系企業

増収率が前の期に比べ二倍以上となったのは昨年より三社多い十二社。一位は日本風力開発で、自然エネルギーの導入を促進する政策を背景に、風力発電設備の販売が前の期の十基から二十八基に増加。売電収入も増えた。

四位の暗号化技術開発のシーフォーテクノロジは、暗号技術を使ったシステム受託開発案件が急増した。前の期の売上高が約四億円と小さかったことも増収率の高さにつながった。

七位の携帯電話向けゲーム配信的のシー・モードは高機能携帯電話の普及に伴い、有料のゲーム配信が堅調だった。九位のアイ・エックス・アイは地理情報システムの機器販売が約四倍となったことが寄与した。

新興3市場増収率ランキング

順位	社名	増収率	売上高
1	日本風力開発	219	4,064
2	ヒューマネジ	206	4,772
3	フージャース	196	11,535
4	C4T	180	1,147
5	IBダイワ	172	2,718
6	M・リンクス	157	16,863
7	ジー・モード	126	2,527
7	松戸公産	126	6,482
9	IXI	113	5,524
10	ソデック	111	35,303
11	サンウッド	109	12,670
12	アネスタ	108	52,561
13	アセ	86	1,471
14	T&G ニーズ	78	5,275
15	フィールズ	77	61,041
16	アクセス	68	2,860
16	コナミTYO	68	13,614
18	日本DBM	67	10,010
19	トクメンデバ	65	68,846
20	アクセル	64	3,256
21	ユーズBMB	62	26,809
22	ZENTEK	60	1,215
23	イオンボイス	57	42,140
24	ゲームビーTV	56	94,060
25	ゲームビーTV	50	10,671
26	ディックSK	49	14,420
26	ワイエシイ	49	64,094
26	ワイエシイ	49	10,055
29	ヤマノHD	48	33,065
30	JDC	47	813
31	シンクレイヤ	45	18,071
32	テセック	44	4,515
32	アーキ	44	54,835
34	イーシーワン	43	3,330
35	プライム・L	42	9,360
35	トランスンG	42	274
37	シチズン電カ	41	72,378
37	富士テクニカ	41	21,627
39	ベクター	39	1,874
39	ジグノシス	39	5,505
39	音通	39	12,798
39	ソフバンテック	39	25,698
43	テレウェイヴ	38	7,437
43	石垣食	38	1,207
43	栄電子	38	5,693
46	オリコン	37	4,649
46	新日本建物	37	57,004
46	サンジャパン	37	4,195
49	ジュテック	36	103,331
50	ジオマテック	34	20,526

(注) 2期以上連続実績のない会社は他社に含めず、銀行・証券・保険・金融、変則決算を除く

企業のリストラを背景に、再就職支援のヒューマン・マネジメント・ジャパンと日本ドレック・ピーム・モリンがそれぞれ二位と十八位に入った。地価や金利の低下を受け、フージャースコーポレーションやサンウッドなど不動産事業者も五位に入った。ただデフレや消費低迷の影響で、昨年六位あった外食企業は三十五位のプライム・リンク社にとどまった。



株式会社 フージャースコーポレーション

Hoosiers